



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.877 2013年4月8日

ARIBからのお知らせ

第 87 回規格会議の決議に基づく標準規格等の電子ファイルの公開について

2013年3月19日に開催された第87回規格会議の決議に基づき、以下の標準規格の策定1件、改定9件、技術資料の改定8件の電子ファイルを、今週 ARIB Web サイトに公開しますのでお知らせいたします。

- 1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report (ARIB STD-T63 / TR-T12 Ver.9.60)
- 2 IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report (ARIB STD-T64/TR-T13 Ver.6.20)
- 3 200 MHz-Band Broadband Wireless Communication Systems between Portable BS and MSs ARIB STANDARD (ARIB STD-T103 Ver.1.1)
- 4 LTE-Advanced System ARIB STANDARD (ARIB STD-T104 Ver.1.50)
- 5 超高精細度テレビジョン方式スタジオ規格標準規格 (ARIB STD-B56 1.0版)
- 6 FM多重放送の運用上の標準規格 (ARIB STD-B3 1.3版)
- 7 デジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様) (ARIB STD-B21 5.3版)
- 8 デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格 (ARIB STD-B24 5.7版)
- 9 セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送用受信装置標準規格(望ましい仕様) (ARIB STD-B53 1.2版)
- 10 放送事業用4FSK連絡無線方式標準規格 (ARIB STD-B54 2.0版)
- 11 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料 (ARIB TR-B14 5.1版)
- 12 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料 (ARIB TR-B15 6.0版)

- 13 5.1chサラウンド番組の制作技術ガイドライン技術資料
(ARIB TR-B30 1.1版)
- 14 ファイルベースによる番組交換方式技術資料
(ARIB TR-B31 1.3版)
- 15 デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定技術資料
(ARIB TR-B32 1.1版)
- 16 セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料
(ARIB TR-B33 1.6版)

標準規格等の電子ファイルのダウンロードが初めての方は、以下のURLにある注意事項等を確認の上、行って下さい。標準規格等一覧も、このページからご覧になれます。

http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_tushin/index.html

また、IPR 検索サービスについては、今回の規格会議での IPR 情報を近日中に更新する予定です。この検索サービスは以下の URL でご利用いただけます。

<http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/sakutei/IPR/index.php>

総務省からのお知らせ

V-Low マルチメディア放送に係る参入希望調査等の実施

[【平成 25 年 3 月 25 日の総務省報道資料から】](#)

総務省は、地上テレビジョン放送の完全デジタル化に伴い利用可能となった周波数のうち、90MHz 以上 108MHz 以下の周波数帯域（以下「V-Low 帯域」という。）を用いる放送の制度整備における検討の参考とするため、3月25日（月）から4月24日（水）までの間、参入希望調査等を行います。

1 趣旨等

V-Low 帯域について、情報通信審議会で「放送」用に利用することが適当である旨の答申（平成 19 年 6 月）がなされて以降、V-Low マルチメディア放送[※]について総務省の懇談会、研究会等の他、関係事業者間でも検討がなされてきたところです。

昨年来、全国で順次 V-Low マルチメディア放送の実証実験が進められています。また、今般、日本民間放送連盟からも、V-Low マルチメディア放送に関する検討結果として、ラジオ全社で参入するとの合意には至らなかった旨の報告があったところです。同報告では、V-Low マルチメディア放送への参入を目指す社がある一方、AM 放送の難聴解消などを目的として FM 放送の活用を希望する社があるので、これらの意向を踏まえ、双方が両立する制度整備などを求めていくこととされています。

こうしたことから、今後の制度整備における検討の参考とするため、総務省では、改めて、既存ラジオ事業者以外の方も含め、広く参入希望等について調査を行います。

※V-Low 帯域を用いた携帯端末向けマルチメディア放送のこと。

2 提出要領等

(1) 調査名

V-Low マルチメディア放送（ISDB-Tsb 方式）に係る参入希望調査等 [〈別添〉](#)

(2) 実施期間

平成 25 年 3 月 25 日（月）から平成 25 年 4 月 24 日（水）（必着）まで

※必要に応じ、別途、個別ヒアリングを実施する場合があります。

(3) 提出方法

参入希望調査提出方法のとおり。〈別紙〉

<関連報道資料>

- V-Low マルチメディア放送の制度枠組みについての意見募集及び参入希望調査の実施
(平成 23 年 1 月 7 日)

URL:http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu07_01000010.html

- V-Low マルチメディア放送の制度枠組みについての意見募集及び参入希望調査の結果の公表
(平成 23 年 2 月 10 日)

URL:http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu07_01000012.html

- V-Low マルチメディア放送に関する事業者等へのヒアリングの結果
(平成 23 年 10 月 26 日)

URL:http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu07_01000026.html

連絡先

情報流通行政局放送政策課地域メディア室

担当：安澤課長補佐、齊藤主査

住所：〒100-8926

東京都千代田区霞が関 2-1-2

電話：03-5253-5737

FAX：03-5253-5779

(技術関係について)

情報流通行政局放送技術課

担当：向井課長補佐、和田係長

住所：〒100-8926

東京都千代田区霞が関 2-1-2

電話：03-5253-5786

FAX：03-5253-5788

周波数割当計画の一部を変更する告示案に係る意見募集

－アナログ通信方式による防災行政用の周波数の使用期限について－

[【平成 25 年 3 月 29 日の総務省報道資料から】](#)

総務省は、VHF 帯及び UHF 帯の防災行政用無線について、システムの高度化及び周波数有効利用を図るためデジタル化を推進しているところです。今般、アナログで使用している防災行政用周波数に使用期限を明示し、迅速なデジタル化を推進するため、周波数割当計画（平成 24 年総務省告示第 471 号）の一部を変更する告示案を別紙 1 のとおり作成しました。

つきましては、これについて、平成 25 年 3 月 30 日（土）から同年 4 月 30 日（火）までの間、意見を募集します。

1 変更の概要

VHF 帯及び UHF 帯の周波数は、陸上移動通信に適した周波数であり、総務省ではシステ

ムの高度化及び周波数有効利用を図るためデジタル化を推進しているところです。

これまで、150MHz 帯及び 400MHz 帯を使用する移動通信系の防災行政用周波数について、システムの高度化及び周波数有効利用を図るために平成 14 年から平成 19 年にかけて 260MHz 帯に新たなデジタル化用周波数を用意し、移行を促進してきました。

本件は、さらに迅速なシステムの高度化及び周波数有効利用を推進するため、アナログで使用している防災行政用周波数の使用期限を平成 35 年 5 月 31 日とし、周波数割当計画に明記するものです。

2 意見募集対象及び意見公募要領

意見募集対象：[別紙 1 周波数割当計画の一部を変更する告示案 新旧対照表 \(PDF\)](#) 

意見公募要領：[別紙 2 \(PDF\)](#) 

3 意見募集の期限

平成 25 年 4 月 30 日 (火) 必着

4 今後の予定

寄せられた御意見及び電波監理審議会への諮問に対する同審議会からの答申を踏まえ、周波数割当計画の変更を行う予定です。

連絡先

担当：総合通信基盤局 電波部 電波政策課

浅井周波数調整官、戸部第三計画係長

電話：(直通) 03-5253-5875

FAX： 03-5253-5940

E-mail：freq-allocation_atmark_ml.soumu.go.jp

(スパムメール防止のため、@を「_atmark_」と表示しています。
メールをお送りになる際には、「_atmark_」を@に直して下さい。)

編集後記

新年度になって、3 月には空いているように思っていた通勤電車がだいぶ混んできた気がします。そう思いながら、周りを見ると、いかにも新入社員ですといったスーツ姿の人がちらほらと。しばらく新入社員の配属されない部署にいたので縁遠くなってしまっていたのですが、今年の新人の特徴はなんだろうかと思い、ちょっと調べてみました。公益財団法人日本生産性本部で毎年出されている調査によると今年の新入社員のタイプは「ロボット掃除機型」だそうです。そのころはというと、「一見どれも均一的で区別が付きにくい、部屋の隅々まで効率的に動き回り家事など時間の短縮に役立つ(就職活動期間が 2 か月短縮されたなかで、効率よく会社訪問をすることが求められた)。しかし段差(プレッシャー)に弱く、たまに行方不明になったり、裏返しになってもがき続けたりすることもある。能力を発揮させるには環境整備(職場のフォローや丁寧な育成)が必要。」ということのようです。

振り返って、自分の時はどうだったかと見てみると、「使い捨てカイロ型」とのこと。「もまないと熱くならず、扱い方もむずかしい」のが特徴だそうです。30 年ほど経って、ものは高価になって違いはありますが、手間がかかりそうなところはあまり変わらないのですね。

新入社員に能力を発揮してもらうために、私も先輩の一人として昔を思い出し、環境整備と育成に心がけたいと思っています。(K.I.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp